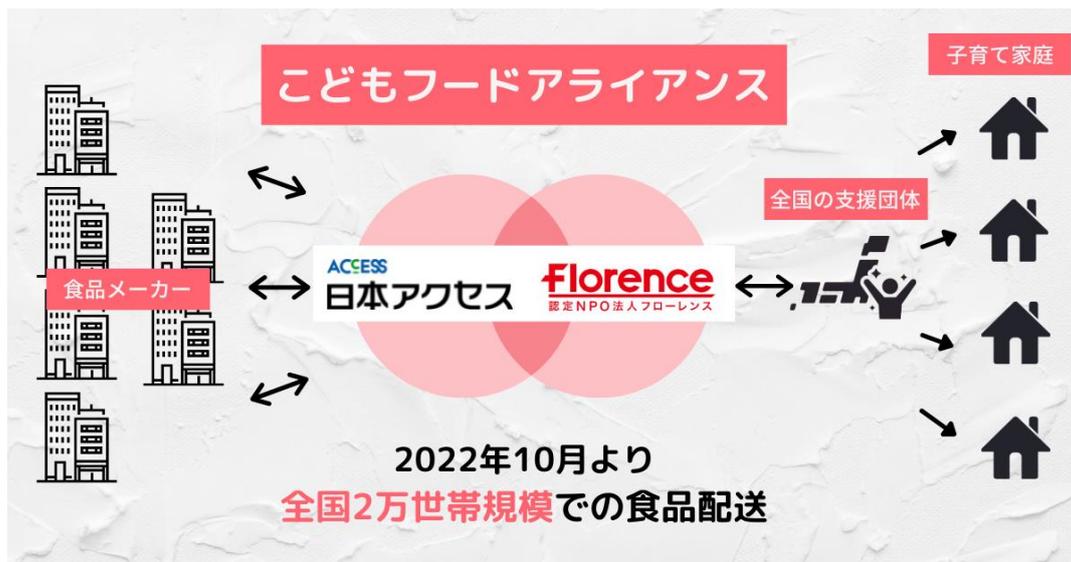


2022年11月15日

フローレンスと日本アクセス、全国の子育て家庭に食支援を届ける 「こどもフードアライアンス」2万世帯規模で実施

初回トライアルより3倍となる24万食の食品を配送

国内大手食品卸企業・食品メーカーが一体となって親子支援団体と協働する全国規模の取組



認定NPO法人フローレンス（東京都千代田区、代表理事：赤坂緑）と株式会社日本アクセス（東京都品川区、代表取締役社長：佐々木 淳一）は、大手食品メーカー各社の協賛のもと、全国のこども宅食実施団体など子育て支援団体を通じて全国の子育て家庭へ食支援を行う取り組み「こどもフードアライアンス」の第2弾を10月より実施しています。

2022年1月のトライアル配送では、コロナ禍で経済的な困窮を深める子育て家庭を支援するため、フローレンスグループの一般社団法人こども宅食応援団（以下、こども宅食応援団）に加盟する全国65団体を通じて、約1万世帯に合計8万食の食品配送を実施しました。

今回の第2回配送では、前回の3倍となる約24万食をお届けいたします。

コロナ禍や物価高騰で深刻化する経済困窮、こども宅食の活動を支える「こどもフードアライアンス」

長期化するコロナ禍での経済的打撃や物価高の影響は、経済的な困難を抱えるご家庭をさらに深刻な状況に追い込んでいます。

フローレンスでは、経済的困難など様々な困りごとを抱えるご家庭に定期的に食品・日用品を配送することで継続的に繋がりを持ち、必要な場合にはさらなる支援につなげる「こども宅食」の取り組みを2017年から推進し、フローレンスグループのこども宅食応援団が全国に広がっています。

これまで、全国のこども宅食実施団体は、こども宅食応援団が提供する助成や物品の他に、各団体ごとに必要な食品を購入・寄付を通じて調達してきました。しかしながら、**限られたスタッフや財源の中で、食品の安定確保や寄付企業との接点づくりに困難を抱える**団体も多くあります。

「こどもフードアライアンス」は、複数の食品メーカーより提供される食品を一括集約し、全国のこども支援団体に分配する取り組みです。

寄付食品を一括集約することで、**全国の子育て支援団体の食品調達をサポートし、企業各社にとっても自社商品の提供を行いやすくなり、SDGsへの取り組みを促進させる**ことができます。

事業コンセプト

こどもフードアライアンスとは

1

全国最大の食品流通ネットワークを有する日本アクセスと、全国の困窮家庭の支援者ネットワークを有するフローレンスで実現する、**企業と地域団体をつないで食品を子育て家庭に届ける**ための事業のこと。

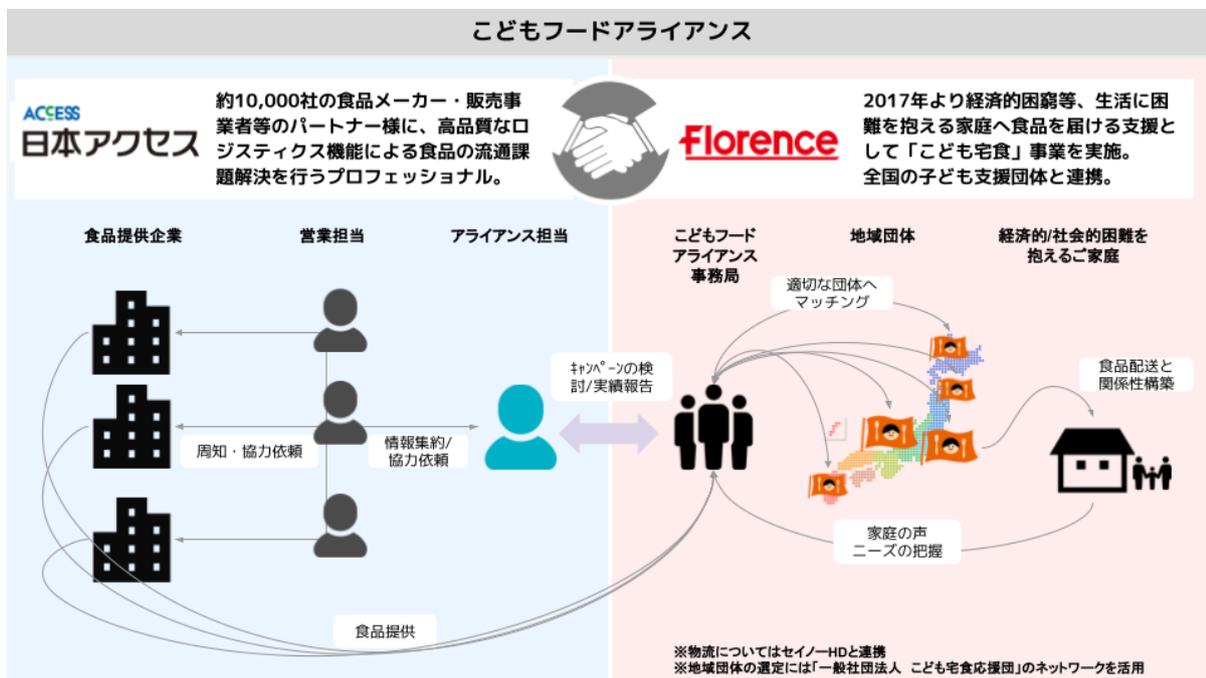
2

地域団体の探索や交渉、物品と団体ニーズのマッチング、物流の調整など、様々な課題によって、**企業ニーズが強くあるにも関わらず実現が困難だった、困窮家庭への食品提供を実現する仕組み**を作る構想です。

3

食品の確保に奔走している地域団体に十分な食品が届くようになると、より多くの家庭に、より質の高い支援を届けることができるようになり、**食を通じて、家庭と地域社会のつながりの創出に貢献する**ことを目指します。

第2弾となる本年10月からの取り組みにおいては、日本アクセスが各食品メーカーに協賛を募り、趣旨に賛同したメーカー各社より提供いただく食品をフローレンスが東京と佐賀に集約、こども宅食応援団の連携先団体へ配送いたします。配送にかかる費用は日本アクセスがサポートします。



コロナ禍や物価高騰で経済的な不安を抱えるご家庭がより厳しい状況におかれる中、全国に支援者ネットワークを持つNPOと、大手食品メーカー各社とネットワークをもつ国内最大級の食品卸企業とが協働することで、非常に大規模な支援網が実現します。

前回より3倍の食品を届ける、第2回配送

2022年1月に実施したトライアル配送では、フローレンスグループのこども宅食応援団を通じて、**全国のこども宅食を実施する65の支援団体へ、1万世帯に合計8万食の食品を配送**しました。

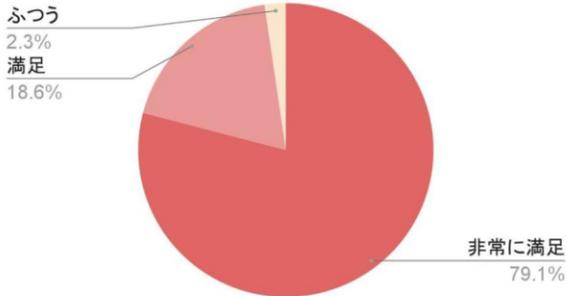
第1回トライアル配送での食品ラインナップについて、こども宅食実施団体にアンケートを実施したところ「非常に満足」が79.1%に上りました。

団体の購入予算では買えない食品も多かったことから、「購入したことがない商品でご家庭に大変喜ばれた」や「品数・内容ともに地域では集められない」など、「こどもフードアライアンスだからこそ実現できた内容」との評価を得ています。

**即席麺や嗜好飲料から、ゼリーやお菓子まであったことで
家庭の親御さん・お子さんそれぞれに喜ばれるラインナップとなり支援団体から高い評価。**

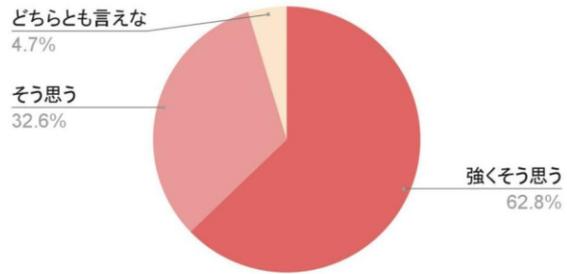
食品ラインナップに対して支援団体からの高い評価。団体の購入予算では通常入手できない商品も多く「見たこと無い便利な商品でご家庭に大変喜ばれた」「品数・内容ともに地域では集められない」という感想も。

お届けした「食品の内容」への満足度



特徴については「親御さんに特に喜ばれる」と評価される割合が非常に多かった。「お子さんに特に喜ばれる」についても過半数の団体が「強くそう思う」と回答。

通常集めている食品と比較して「親御さんに特に喜ばれる食品だった」



8

一般社団法人こども宅食応援団「こどもフードアライアンスのトライアル配送の結果」より

10月より実施している第2回配送では、長期化するコロナ禍において、生活困窮者への支援の高まりを背景に、「こどもフードアライアンス」の主旨に共感いただく企業が増加し、協賛企業は14社から30社に増加、寄付食品は合計約24万食と前回の3倍の食品数となりました。

これらの食品は、こども宅食応援団を通じて、**全国のこども宅食を実施する98の支援団体へ配送し、順次約2万世帯に合計約24万食**の食品をお届けします。

第1回トライアル配送の際は、東京1箇所の倉庫から全国に配送しましたが、支援団体が九州に多くあることも勘案し、今回は東京・佐賀2拠点から全国各地への配送と、物流の見直しも行いました。CO2の排出など物流における環境負荷低減にもつながります。

**倉庫2拠点化で、物流スキームの進化！
CO2の排出削減にも寄与**

関東1箇所の倉庫から全国に配送した物流を見直し、今年度は、関東・九州2拠点から全国に配送を実施



今年6月に発表された政府の「経済財政運営と改革の基本方針2022」（骨太方針2022）でも、こども宅食等の支援の促進や、アウトリーチ型のアプローチの重要性が挙げられ、全国の支援団体の数は今後も増えていくと予想されます。来年度以降も、困難を抱える子育て家庭への支援に協賛する企業の賛同を募りながら、本事業がより安定・持続的なものになるよう取り組んでまいります。

協賛企業（五十音順・敬称略・一部ご紹介）

この度の取り組みに、全30社の企業様より協賛をいただきました。公表可能な企業名を掲載しております。（2022年11月15日時点）



味の素株式会社



味の素AGF株式会社



エスビー食品株式会社



キーコーヒー株式会社



サトウ食品株式会社



株式会社J-オイルミルズ



昭和産業株式会社



たいまつ食品株式会社



株式会社永谷園
ホールディングス



日清食品株式会社



ネスレ日本株式会社



はごろもフーズ株式会社



株式会社不二家



株式会社ホテイフーズ
コーポレーション



ポッカサッポロフード
& ビバレッジ株式会社



マルコメ株式会社



マルハニチロ株式会社



丸美屋食品工業株式会社



株式会社マンナンライフ



ヤマサ醤油株式会社



UCC上島珈琲
株式会社

認定NPO法人フローレンスについて

フローレンスは、「みんなで子どもたちを抱きしめ、子育てとともに何でも挑戦でき、いろんな家族の笑顔があふれる社会」の実現に向け活動する、国内最大規模の認定NPO法人です。

多様な保育事業を運営するほか、子どもの虐待や貧困問題等、国内の親子領域の課題を解決するため、こども宅食などの各種支援事業や政策提言活動、ソーシャルアクションを推進しています。2020年4月からは「新型コロナこども緊急支援プロジェクト」を立ち上げ、特に生活に深刻な影響が及んでいた「経済的に不安定な家庭」「ひとり親家庭」「医療的ケア児者家庭」に対し、こども宅食や衛生用品の配送などを通じた支援を実施し、2021年3月末時点でのべ64,200世帯以上、55の医療施設に支援を届けました。

フローレンスグループの一般社団法人こども宅食応援団は、2018年より全国80超のこども宅食支援団体に立ち上げ支援やノウハウ提供を行うほか、政策提言、自治体向け勉強会等を推進しています。

フローレンスコーポレートサイトURL：<https://florence.or.jp/>

こども宅食応援団サイトURL：<https://hiromare-takushoku.jp/>

株式会社日本アクセスについて

日本アクセスは、伊藤忠商事株式会社100%の総合食品卸売会社です。

2022年3月期の売上高は2兆1,203億円で、食品流通業界のリーディングカンパニーです。

拠点数は、日本国内に営業拠点と物流拠点を合わせて約600拠点をもち、従業員数も約4,000人におよびます。当社は、ドライ、チルド、フローズンの3温度帯商品を扱っておりますが、中でもチルド、フローズンの低温度帯商品に強みを持っており、冷凍食品やアイスクリームなどのフローズン食品や乳製品、洋日配、和日配などのチルド食品の取扱いは業界No.1です。

また、加工食品、乾物乾麺、酒、菓子やデリカ、外食産業向けの業務用食品についても力を入れており、幅広い商品の取り扱いが当社の強みでもあります。

得意先につきましては、小売業やコンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストアなどの約2,000の企業様、仕入先につきましては、約10,000の企業様とお取引をいただいておりますが、日本アクセスの強みでもある物流網を活用し、日々、日本全国の得意先店舗に商品をお届けしています。

また、日本アクセスは、企業理念をととも大切にしている会社です。

“心に届く、美味しさを”まもる。つなぐ。つくる。”ことを通じて働きがい高め、個々の力を結集することで、人と食の未来への懸け橋となることを企業理念に掲げ、持続可能な成長を実現できるNo.1の総合卸企業を目指しています。

日本アクセスコーポレートサイト：<https://www.nippon-access.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

認定NPO法人フローレンス 広報担当：八木（03-6811-0903）

mail：spr@florence.or.jp

株式会社日本アクセス 広報サステナビリティ推進部（03-5435-5674）

mail：koho@nippon-access.co.jp